

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】平成17年10月27日(2005.10.27)

【公開番号】特開2000-330690(P2000-330690A)

【公開日】平成12年11月30日(2000.11.30)

【出願番号】特願平11-177317

【国際特許分類第7版】

G 06 F 3/02

G 06 F 15/02

H 04 M 1/02

H 04 M 1/23

H 04 M 1/247

H 04 M 1/26

H 04 M 11/00

【F I】

G 06 F 3/02 3 1 0 A

G 06 F 15/02 3 1 0 Z

H 04 M 1/02 C

H 04 M 1/23 P

H 04 M 1/247

H 04 M 1/26

H 04 M 11/00 3 0 2

【手続補正書】

【提出日】平成17年7月18日(2005.7.18)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】携帯情報機器の入力システム

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

文書入力機能が備わっている携帯情報機器において、表示画面がある正面の辺を陵辺として接している面を側面としたとき、文字入力用の入力キーが側面に配置されてあることを特徴とする携帯情報機器の入力システム

【請求項2】

請求項1において、側面に少なくとも第1キーから第5キーまでの5個の文字入力用キーが、片手で機器を握った時に第1キーを親指、第2キーを人指し指、第3キーを中指、第4キーを薬指、第5キーを小指で操作するように配置されてあることを特徴とする携帯情報機器の入力システム

【請求項3】

請求項2において、側面に突起状の保持棒が設けられてあることを特徴とする携帯情報機器の入力システム

【請求項 4】

請求項 3において、上記保持棒が、装置本体内に収納可能であることを特徴とする携帯情報機器の入力システム